通信教育部事務局より

■入学課

『入学生募集！』

平成27年度後期生（10月入学）を募集します。募集期間は、7月10日（金）～10月31日（土）です。

通信教育部では、より良い学習環境の整備に力を入れており、平成27年度は500講座を超えるスクーリング、メディア授業は72講座を開講しています。ホームページは、より早く新着情報を更新するなどの有効利用に努め、在学生専用ポータルサイトから科目修得試験・スクーリングの申込や各自の履修・リポート提出・成績の状況が確認でき、その便利さを感じられた方も多くいらっしゃると思います。

皆さんのお知り合いの中に、働きながら学べる大学を探している方、資格取得や生涯学習として学びたいと考えている方がいらっしゃいましたら、是非、皆さんの経験した日本大学のスケールメリットや通信教育部の魅力を伝えていただき、本学への入学を勧めていただきたくお願い申し上げます。

入学のご相談は、入学説明会のほか、全国の学習センターや学習相談会でも行っています。開催日時や会場については、ホームページをご参照ください。

通信教育部では、通学志向の高校生向け資料も用意しております。高校に勤務されている先生方、また高校の先生をご紹介いただける方がいらっしゃいましたら、通信教育部入学課までご連絡ください。資料を送付いたします。

■教務課

『3月卒業』

平成26年度3月卒業式が、3月25日（水）に日本武道館で行われ、通信教育部からは340名の学生が卒業しました。

卒業式終了後、通信教育部校舎での学位記伝達式に引続き、ホテルメトロポリタンエドモントで卒業祝賀会が行われました。

卒業祝賀会は、白戸忠志通信教育部校友会会長から祝辞をいただいた後、樽酒で鏡開きが行われ、盛会のうちに終了しました。

『在学生数』

5月1日現在での在学生数は、6,310名です。

■研究事務課

『研究紀要』の発行

平成27年3月、通信教育研究所から『研究紀要』第28号（竹中眞幸教授退職記念号）が発行されました。

学友会より

学友会会長　吉崎　悟

諸先輩のみなさま、初めまして。学友会の吉崎と申します。私は昨年まで学友会福島支部および学友会総務部にて学友会活動に携わっておりましたが、今回、前任の川井会長より、引継ぎを受け、平成27年度の学友会会長に就任しました。就任後間がなく勝手もわからず手さぐり状態ですが、校友会会員のみなさまのご指導を賜り、学友会を運営していきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

さて、学友会は平成25年度より、全国連合学友会と各都道府県学友会との間の垣根を取り払い、一体となって活動する組織となって活動を行っております。この組織変更により、従来の各都道府県学友会は、学友会支部として活動を開始しました。組織変更の目的は、①連合の役割および集夏祭実行委員の役割を地方の役員でも担いやすくし学友会活動および集夏祭の活性化を図ること、②各都道府県の学友会が相互に協力しやすい体制を整え、全国津々浦々の学生の修学の便宜を学友会活動によって図ることです。組織変更は、学友会活動や集夏祭の活性化、学友会相互の協力体制の確立といった点についてはよい方向で進んでおります。しかし、依然として学友会活動には地域差があり、活動を停止した地方の学友会支部の復活は進んでおらず、全国津々浦々の学生に対する学修の便宜を図ることができていないことが課題の一つです。また、我々の行っている学友会活動が、すべての学生の関心を惹きつけているとは言えない状況も課題として挙げられます。通信制とはいえ、同じ学び舎で学ぶ学生同志が切磋琢磨し、あるときは協力しあうことは、学修の基本であり、学修効果を高めます。市ヶ谷校舎への通学がままならない地方の学生や、関東近郊に在住する学生であっても昼間スクーリング等に参加できず、同じ志を持つ学生と知り合う機会の少ない学生からの学友会への期待は大きいものがあり、この期待を裏切り27年度の学友会活動が必要です。しかし、現在活動している学友会支部は、平成27年6月1日現在で、北海道支部、宮城支部、福島支部、新潟支部、長野支部、石川支部、埼玉支部、東京支部、神奈川支部、岐阜支部、愛知支部、大阪支部、兵庫支部、福岡支部、宮崎支部の15支部であり、全国の都道府県の3分の一の地域にしか支部がなく、支部のない都道府県に対する支援を行う役員を確保するのが難しい状況も課題となっています。特に中国地方・四国地方の各県にひとつも支部がない状況が数年間にわたって続いております。これらの課題について、校友会会員のみなさまの豊富な経験をご伝授いただき、学友会の運営・活動に反映していくことができればと思っております。

学友会活動に対して学生から期待される役割は、同じ志をもつ学生が助け合い、あるときは競いあい、それぞれの目標に向かって進んでいけるようにお手伝いすることです。その役割を果たすため、学友会活動の内容は、基本的には、一部の学生のみの学生を対象としたものではなく、広く多くの学生が参加し易い内容であるべきであると考えております。

地方支部では、科目修得試験の数週間前などに学習会を開催して情報交換の場を設けたり、地方スクーリングの初日の夜や、年4回の科目修得試験終了後の夜に、懇親会を開催したりするなどの、地道な活動を行っています。

平成27年度は、富岡と広島で宿泊学習会を実施しました。このうち広島での宿泊学習会では、平和の尊さを皆で改めて学ぶことができました。

我々は学生であり、知的好奇心は旺盛であることから、テーマを絞った講演会も、学生の好評を得ています。集夏祭の講演会を始めとし、毎年さまざまな講師の先生をお呼びして講演会を開催しております。講演会開催については、あるときは、学内の先生をお呼びしたり、外部の講師をお招きしたり、偏りが生じない取組み行っております。

また、各都道府県の学友会支部活動は、地域特性に合わせて行われています。ある支部で成功している行事の事例は、他の支部でも、その特性に合わせてカスタマイズすれば成功することが多々あり、たとえば、「履修登録検討会」といった行事は、大阪で始まり、現在では、他の支部へ広がっております。

毎年、通信教育部が行う、軽井沢オリエンテーションや、春と秋のオリエンテーションでは、学友会役員を現地に派遣し、参加学生に対して、学生目線で通信教育部での学びの流儀について説明を行ったり相談に乗ったりしております。

学友会では、今年度も夏期スクーリング期間中に恒例の「集夏祭」を実施します。今年度は四企画あり、集夏祭実行委員長のもと、四つの企画チームに分かれ、あるときは協力しあい、ときには競い合い、スクーリングに出席するために上京した学生に、日大生であることを実感してもらう企画を用意しております。8月19日（水曜日）に実施する有名作家を招いての「講演会」は、現役の学生でなくても入場可能です。学友会のWebサイト http://dld-nihon-u-gakuyukai.com/ をぜひチェックいただければと思います。この機会が、校友会と学友会の接点になれば幸いです。ところで、今回の講演会の講師の方の招聘については、校友会のみなさまの多大なご尽力を賜りました。校友会のみなさまのご協力がなければ実現は不可能であった企画です。校友会のネットワークのパワーを垣間見ることができました。

最後になりましたが、至らぬ点も多いかと思います。その際には、皆様のご指導・ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

通信教育部校友会より

《「会報88号」原稿依頼》

平成28年1月1日、発行の原稿について。各支部、ブロックの行事予定及び活動報告、春秋の叙勲・褒章の受賞者、支部活動の貢献者等の校友紹介、本部及び事務局に対する提案、エッセイ、旅行記その他何でも結構です。11月10日までに校友会事務局あてお送り下さい。

なお、原稿は次の事項に留意してご提出願います。

(1)校友会指定の原稿用紙を使用するか、ワープロの場合は縦書き「13文字」とする。

(2)数字及びアルファベットは1マスに2つ書き入れる。×平成二七年　○平成27年

(3)時間は24時間で表示する。

(4)曜日は1マスとする。(日)

(5)校友紹介の原稿には顔写真を添付願います。

注　ご寄稿の原稿には、忠実に会報に記載するよう心掛けておりますが、会報の公共性、紙面構成（割付）の都合等により原稿の趣旨への影響を考慮しながら訂正する場合がありますので、予めご了承下さい。

《ブロック・支部総会報告》

報告書は次の事項に従いご提出下さい。ご提出下さいましたブロック及び支部には助成金を支給します。

提出資料は、

(1)開催報告書

前項の条件を遵守し、600字程度にまとめて下さい。

(2)集合写真1枚（手札判・印画紙プリントのみ）

(3)助成金振込用紙

注　ブロック助成金3万円

支部助成金　2万円

《会報発送補助費について》

通信教育部校友会報を支部の方々に発送した際は、左記の書類を揃えて、校友会事務局に申請して下さい。1部80円の補助費が支給されます。

①会報発送補助費申請書

②発送代金の領収書のコピー

③支部の郵便振込用紙

《事務局からのお知らせ》

《住所変更について》お願い

校友会報の発送、総会の案内状発送等に必要ですので、市町村合併や引越等で住所が変更になった場合は、なるべく早く校友会事務局までご連絡下さい。

尚、校友会事務局は毎週月・火・金曜日（祝祭日は除く）午前10時から午後6時までの間、上京の節は、是非お立ち寄り下さい。お待ちしております。

《会報掲載原稿は左記へ》

〒102-8005 東京都千代田区九段南4-8-28

日本大学通信教育部校友会事務局宛

《夏期休業について》

通信教育部校友会事務局は8月22日(水)より8月30日(日)の間お休みいたします。よろしくお願いします。

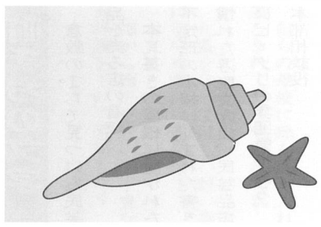
会則（改正）

細則第4章第6条（変更）

会則第2条に定める事務局は、日本大学通信教育部内（東京都千代田区九段南4－8－28　日本大学通信教育部内　電話03－3234－5858）に置く。

日本大学通信教育部校友会旗制作のお知らせ

この度、念願の校友会旗（左掲写真）ができましたので、ご報告いたします。



日本大学通信教育部校友会　監査
日本大学通信教育部校友会　東京都支部顧問・会計
富澤良光
〒121-0056　東京都足立区北加平町十八-五
TEL FAX　〇三-三六二九-八一四六

日本大学通信教育部校友会　相談役
堀川正夫
〒290-0005　市原市山木五六四-二九
TEL FAX　〇四三六-七四-七二五

日本大学通信教育部校友会　会計
日本大学通信教育部校友会　東京都支部監査
熊本昭典
東京都稲城市向陽台五-五-七202
電話　〇四二三-七八-七二二

日本大学通信教育部校友会　相談役
日本大学校友会徳島県支部　副支部長
徳島市文化協会　副会長
短歌結社「徳島短歌」顧問
本田行政書士事務所
行政書士　本田守
〒779-3105　徳島市国府町東高輪二〇八-二
電話　〇八八-六四二-四六四八

日本大学通信教育部校友会　副幹事長
日本大学通信教育部校友会　石狩支部監査
森下憲次
〒002-8074　北海道札幌市北区あいの里四条三丁目十六-七
電話　〇一一-七七八-七四九二

日本大学通信教育部校友会　会計
日本大学経済学部校友会　幹事長代理
日本大学校友会東京都第五支部　板橋桜門会幹事長
江﨑泰元
葵コーポレーション株式会社　代表取締役
本社　〒114-0015　東京都北区北中里二〇-一〇水野ビル
電話　〇三-五八一五-二二一五(代)
FAX　〇三-五八三四-二〇〇三